

# かとう裕太新聞 5号



## 香取市市民事業仕分けの結果

31歳  
世代をつなぐ  
未来をつくる



かとう裕太公式サイト  
<https://yutakato.jp>

### 0. この討議資料の目的

この討議資料は、普段なかなか情報が入ってこない地方の行政や地方議会、香取市のことについて、興味を持っていただくきっかけとなればよいなと思って作っています。

わからないこと、難しいと思うことがありましたら、お気軽に聞いていただけましたら幸いです。

### 1. 香取市市民事業仕分けとは？

2018年11月末に香取市市民事業仕分けというのが開催されました。香取市市民事業仕分けは、香取市の行っている事業について、**本当に必要な事業かどうか、必要だとして、効率的に事業が行われているかどうか、市民が直接チェックして判定する、**というものです。簡単に言えば、**香取市の事業の必要性・効率性を市民が直接判断する**機会ということです。

仕分けの方法としては、

- ①市の職員の説明(事業の目的・内容・成果・課題等)
- ②「仕分け人」と言われる専門家が市の職員に対して質問し、議論
- ③「市民判定人」が①の説明や②の質問、議論を聞いた上で、事業が必要・不要・要改善など判断(多数決)というような方法で行われました。

市民のみなさんは、市の職員の方の説明と、専門家である「仕分け人」の方の質問や議論などを聞いて本当に香取市にとって必要な事業なのか、効率的に行われているのか判断するということになります。

この事業仕分けの結果が**香取市の最終判断になるわけではありません**が、香取市としては、結果を真摯に受け止め、市の対応を検討した上で予算や事業計画に反映させるとのことです。市民の判断ですのでまったく参考にしない、ということはないのではないかと思います。

香取市市民事業仕分けの詳細な情報や結果は、香取市のWEBサイトからご確認ください。

[http://www.city.katori.lg.jp/government/plan\\_policy/gyokaku/30jigyosiwake.html](http://www.city.katori.lg.jp/government/plan_policy/gyokaku/30jigyosiwake.html)



こちらのQRコードから  
SNSアカウントすべてに  
アクセスできます



### 2. 参加できる人は?どれくらいの人が参加した?

今回の市民事業仕分けは11月23日(金・祝)と11月24日の2日間開催され、**148名**の方が市民判定人として参加されました。市民判定人は、香取市内に在住の18歳以上の方から無作為抽出された2,000人の中から、参加したいと回答された方が参加する方式が取られました(応募率7.4%)。年代別の参加された方の構成率は以下のようになっています。

年代	構成率 (%)
70歳以上	28.38
50～69歳	49.32
30～49歳	16.22
18～29歳	6.08

### 3. 香取市市民事業仕分けの結果は?

今回の香取市市民事業仕分けでは、香取市の36の事業について仕分けが行われました。判定結果を簡単にまとめると、以下のようになります。

判定結果	事業数
不要・凍結	2
国・県・広域が実施	0
要改善	32
現行通り・拡充	2

36事業のうち、この事業は不要という「不要・凍結」が2事業、今のままではいけないという「要改善」が32事業、今のまま、もしくは事業を拡充すべきという「現行通り・拡充」が2事業、という結果になりました。

「現行通り・拡充」と判断された事業は、浄化センター維持管理事業、特定健康診査等事業の2つ、「不要・凍結」と判断された事業は、かとり縁結び大作戦事業、高齢者配食サービス事業の2つとなり、それ以外の32事業が「要改善」と判断されました。

市民判定人のみなさんは、事業仕分けの対象となった36の事業のうち、約9割の事業を改善しなければならぬと判断したことになります。(ちなみに、専門家である「仕分け人」のみなさんも同じような判断、もしくはさらに厳しい判断をしています。)

再度確認ですが、この事業仕分けの結果が香取市の最終判断になるわけではありませんが、香取市としては、結果を真摯に受け止め、市の対応を検討した上で予算や事業計画に反映させるとのことです。

#### 4. 本来行政のチェックは香取市議会の役割

今回の香取市市民事業仕分けは、①市民が直接行政の事業の必要性・効率性をチェックできる場が設けられた、という点と、②香取市の事業を専門家(仕分け人)の視点からチェックする機会ができた、という点で、有意義なものであったと考えます。

市が行う事業を市民の視点と、専門家の視点からチェックしていくことは、事業の効率化・適正化につながりますので、こういった機会が今後も設けられればいいのではないかと思います。

その一方で気になるのは、本来香取市の事業の必要性や効率性、合理性をチェックするのは、香取市議会の役割である、ということです。行政の行う事業を市民の意見や専門家の意見を取り入れながらしっかりとチェックしていくのが市議会の役割・機能です。

今回の香取市市民事業仕分けのように市民と専門家が香取市の事業を直接監視するということは重要なのですが、行政が主導してそういったことが増えてくると、市議会が本来の役割・機能をしっかりと果たせているのか、という疑問がうかんできてしまいます。

香取市議会は、そういった疑問を持たれることのないよう、行政をしっかりとチェックしていき、市民のみなさんに情報を公開していく必要があると考えます。

かとう裕太も香取市議会の議員として、議会のチェック機能を発揮できるように活動して参ります。

香取市市民事業仕分けの詳細な情報や結果は、香取市のWEBサイトからご確認ください。

[http://www.city.katori.lg.jp/government/plan\\_policy/gyokaku/30jigyosiwake.html](http://www.city.katori.lg.jp/government/plan_policy/gyokaku/30jigyosiwake.html)



## 31歳

香取市議会議員  
加藤裕太 31歳

コチラのQRコードから  
SNSアカウントすべてに  
アクセスできます



世代をつなぐ

未来をつくる

香取市佐原生まれ。佐原小、佐原中、八千代松陰高校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、石油元売会社入社。退社後、佐原駅前の加藤瓦店勤務。京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻修了。加藤裕太行政書士事務所代表。

2018年12月、香取市議会議員選挙で初当選(1,930票)。2012年、香取市総合計画(後期基本計画)審議会委員として、香取市のグランドデザインづくりにかかわる。佐原青年会議所での活動や行政書士の仕事を通じて、行政に若い世代の声を届ける必要性を痛感。若い世代の意見を反映できるまちづくりを目指して活動中。



連絡先 かとう裕太後援会

〒287-0003  
千葉県香取市佐原13340  
電話 070-4168-1635  
メール mail@yutakato.jp  
公式サイト <https://yutakato.jp/>